

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

2023年6月23日

（宛先）
埼玉県北部環境管理事務所長



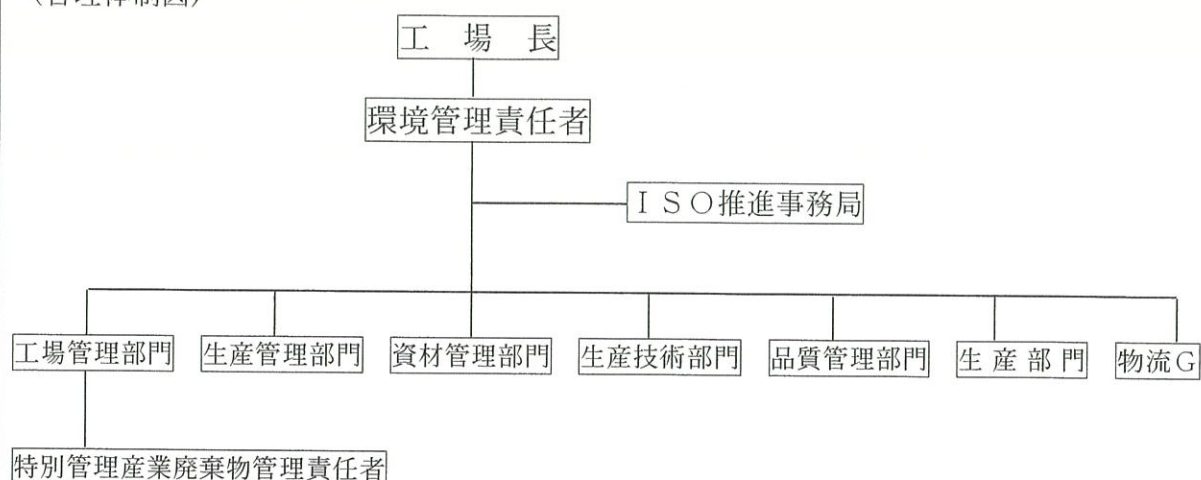
報告者 埼玉県熊谷市船木台4-1-1
株式会社アルビオン 熊谷工場
工場長 大喜多 健二
（電話番号 0493-36-1312）

2023年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社アルビオン 熊谷工場
事業場の所在地	埼玉県熊谷市船木台4-1-1
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
変更の概要	—
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16 化学工業 ※化粧品製造業
② 事業の規模	バルク生産量-1,724 t (2022年度)
③ 従業員数	414名 (6/20現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1・3のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃化粧品パル）	—
	排出量	41.89 t	— t
	（これまでに実施した取組） 生産現場における洗浄水の低減とパル取出方法の改善		
② 計画	【2023年度 目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃化粧品パル）	—
	排出量	41.89 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 昨年度の排出量維持を目標とする 製造手順書に従った作業を順守する 産業廃棄物再利用高度化の検討		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥（廃化粧品パル）、廃プラスチック、金属くず・廃プラスチック、木くず 汚泥（ガラス・陶磁器くず・廃プラ）、排水汚泥、廃蛍光管、
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 乾電池

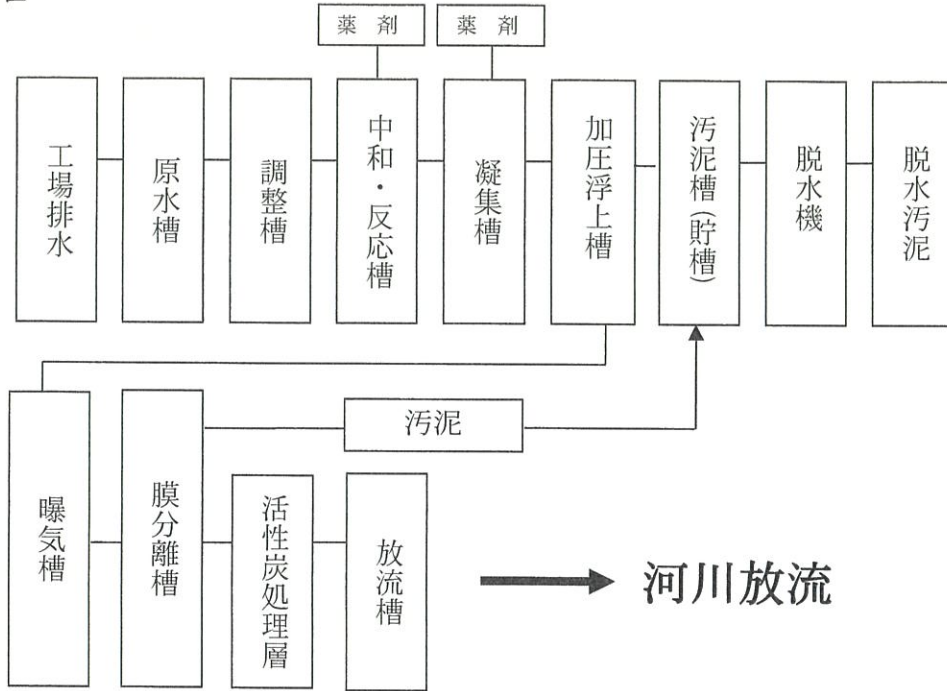
(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	排水汚泥(脱水)	ー
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	59.21 t	ー t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・保守計画に沿って、年1回脱水機のメンテナンス(オーバーホール・磨耗部品の交換等)を行い、正常稼働の維持管理に努めている ・施設の改築で脱水機が室内に収まり、冬場の含水率が低減した ・薬剤は、凝集剤の変更により、定量推移している 			
② 計画	【2023年度 目標】		
	産業廃棄物の種類	排水汚泥(脱水)	ー
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	59.21 t	ー t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・排水処理量に対し、1 t 当りの汚泥量を0.001差内に留め、排出する汚泥量は前年並みを維持する ・洗浄手順書に従った作業を順守し、逸脱した時の報告を徹底する 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		別紙2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【2023年度 目標】		別紙2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

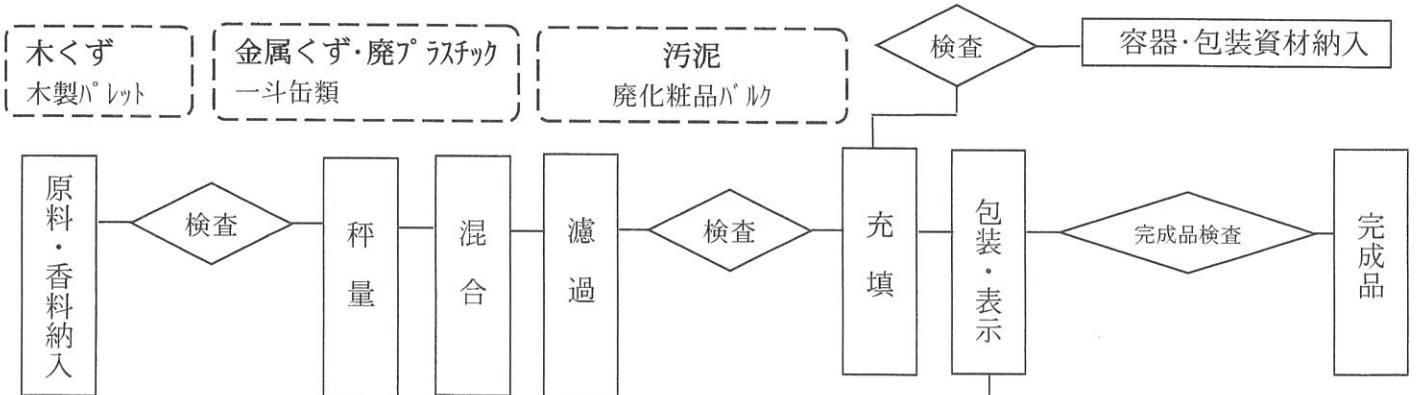
◎排水処理フロー



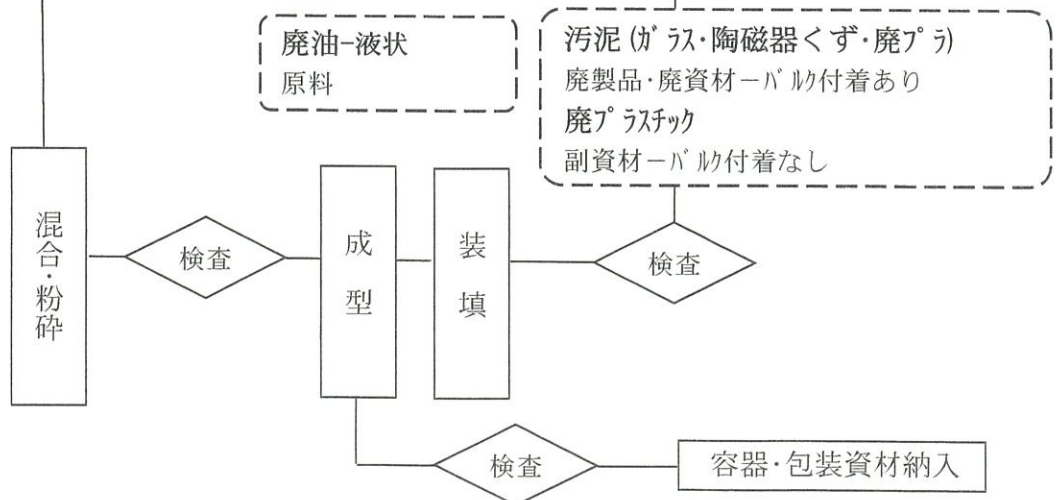
◎製造工程フロー

〔 〕 は発生する廃棄物

《スキンケア化粧品》



《メイクアップ化粧品》



産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2022年度）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	蛍光灯	水銀式血圧計	水銀体温計	合計		
全処理委託量	620.72 t	124.63 t	10.51 t	0.01 t	0.32 t	0.001 t	0.004 t	756.195 t		
優良認定処理業者への処理委託量				0.01 t	0.32 t	0.001 t	0.004 t	0.335 t		
再生利用業者への処理委託量	59.21 t	21.21 t	10.51 t					90.93 t		
認定熱回収業者への処理委託量	561.51 t	103.42 t						664.93 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
② 現状	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃油・混合物 (廃化粧品バルク) / 生産現場における洗浄水の高減とバケリ取出方法の改善 ・ ゴミの減容化 / 減容機により廃棄物の圧縮を行い積込量の確保、また搬出時の適正な積み込みの監視や運搬時の飛散防止対策を実施 ・ 廃化粧品・資材等排出時の積込立会い ・ 金属くずの有価物化 									
【2023年度 目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	廃油	蛍光灯	水銀式血圧計	水銀体温計	合計		
全処理委託量	620.72 t	124.63 t	10.51 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	755.86 t		
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
再生利用業者への処理委託量	59.21 t	21.21 t	10.51 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	90.93 t		
認定熱回収業者への処理委託量	561.51 t	103.42 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	664.93 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
③ 計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃油・混合物 (廃化粧品バルク) / 製造手順書に従った作業を順守する、数量は昨年実績を目標とする ・ 産業廃棄物再利用高度化の検討 ・ 産業廃棄物の再資源化に向けて、委託処理業者の現地確認を定期的に（年1回程度）実施する 									

◎産業廃棄物の処理方法

